

「鳥獣被害対策の推進」の進捗状況

農山漁村振興課鳥獣対策室

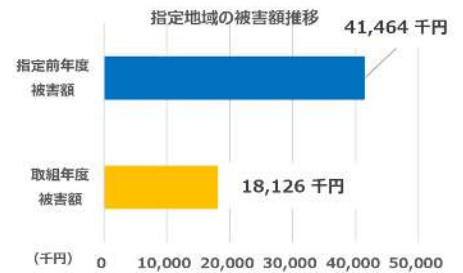
○令和5年度末の進捗状況

1. 被害ゼロに向けた取組

○R5年度指定13地域で鳥獣被害の現状把握、指導を実施

→対策を実施した地域で被害額56.3%減少

■被害額 41,464千円 → 18,126千円



2. 捕獲の担い手確保・捕獲体制の構築

○事前講習会15回、免許試験11回(県内8地域)実施

○合格者 267名

うち有害捕獲目的の合格者 187名

○新人ハンター225名を対象にわな架設研修会を実施



3. 捕獲個体のジビエ活用

○加工処理施設に対してアンケートを実施し、今後の事業目標や設備の拡充などの希望、課題などを調査

○有害捕獲個体のジビエ活用の状況を調査、加工処理施設でジビエ利用されている個体は14.6%(成獣割合66%、自家消費41.2%)

○県内全加工処理施設29施設のうち6施設が今後の規模、販路拡大を希望

■R5イノシシ有害捕獲個体の利用率

有害捕獲頭数(猟期外) R4 13,367頭 → R5 10,947頭

うち活用可能数 R4 5,187頭 → R5 4,248頭

処理加工施設処理頭数 R4 971頭(18.7%) → R5 619頭(14.6%)

4. 中国山地のニホンジカ対策

○市町村の捕獲体制整備を促すための重点捕獲事業を4市町で実施(雲南市、益田市、津和野町、吉賀町)

○邑南町全域に112台のセンサーカメラを設置し、撮影されたニホンジカの出没頻度を基に生息密度調査を実施

○低密度生息環境下での効率的な捕獲方法の開発を継続

■捕獲頭数

R5実績 951頭

R4実績 855頭

R3実績 796頭

R2実績 491頭

